

## 第1回 笠松町第6次総合計画審議会 議事概要

日 時	令和2年8月3日（月） 15:30～16:45		
場 所	笠松町役場 4階大会議室		
出席の委員	大成委員 岩井委員 山田委員 田村委員 堀場委員 岩田委員 岡田委員 古澤委員 樋口委員 伏屋委員 カラギョル委員 高島委員		（以上12名）
欠席の委員	片山委員 小島委員 内田委員 二村委員 伊藤委員 久納委員		（以上 6名）

### 議事概要

#### ① 委嘱書交付

町長から各委員に委嘱書を交付

#### ② 町長あいさつ

#### ③ 会長・副会長の選出

会長に大成委員（岐阜聖徳学園大学 教授）を選出

副会長に岩井委員（羽島郡二町教育委員会 委員）を選出

#### ④ 笠松町総合計画の策定について（諮問）

町長から会長へ笠松町第6次総合計画の策定について諮問

#### ⑤ 議事

##### 〔総合計画の変遷について〕

昭和50年策定の第1次総合計画から、現在の第5次総合計画へと続いており、まちづくりの将来像、理念、基本施策の変遷について説明。

##### 〔第5次総合計画（及び第1期総合戦略）の進捗状況について〕

伸ばしていくべき目標、克服する必要がある目標、また、目標自体の見直しが必要であるもの等を検討していく必要がある。

##### 〔計画策定にあたって勘案すべき「社会潮流」や「まちづくりの課題」について〕

国や県の動向を見ながら、笠松町の計画策定をしていくこととなるが、各委員それぞれの立場からどのようなまちづくりを期待されるか、意見をいただきたい。

- 子どもが参画できる仕組みを取り入れてもらいたい（樋口委員）
- 人口増加という観点で外国人の取り入れ（受け入れ）等を積極的に行っていくことも1つの手段となるかもしれない。（大成会長）
- 交通の利便性が高いということを活かしベッドタウンとしてのPRを推してはどうか。  
「リバーサイドタウンかさまつ計画」も合わせてまちづくりとして考えてはどうか。（伏屋委員）
- 競馬場の駐車場等を利用した交流拠点を作り情報発信へとつなげたい。（伏屋委員）
- 空家の活用をしてはどうか。都市部の若者にとっては魅力的な要素でもある。（樋口委員）
- 競馬場は強い資源となるため、まちづくりには欠かせない。（大成会長）
- 立てた計画がKPI等の数値にどう表れるのかを第5次総合計画の状況を鑑みて今計画を作成していきたい。（古澤委員）
- 笠松ならではの（一目見て笠松だとわかるような）計画、インパクトのあるキャッチフレーズにしたい。（会長）
- 外にはない尖った強みを活かしていかないと生き残れない。  
他市のミニチュア版というような考えは払拭しなければいけない。（岩井副会長）



- いまやweb検索が当たり前の時代であるため、HPを整備し、情報発信を迅速・正確に行ってほしい。（高島委員）
- 調整区域を市街化区域にする等の土地活用が町の発展には欠かせないキーワードとなる。（岡田委員）
- 土地活用は有効な策であるが、上記の場合、市街化区域の農地の大部分を宅地にする必要があるため、現実的には難しい。（岩田委員）
- 転出入者の事由分析が人口維持・増加に繋がるだろう。（山田委員）



## ◎ その他

### 〔住民意識調査について〕

Webアンケートを実施。（笠松町公式LINE登録者約2,600名及び町公式HPにて周知）  
農業委員会や商工会、いきいきクラブ等の機関を通じてアンケート調査に協力いただいている。

町内在住者のみならず、町外の方も回答可としている。

笠松中学校3年生を対象とした意識調査も実施している。

### 〔今後のスケジュールについて〕

来年2月頃の完成を目指し、今回含め計4回の審議会を開催予定。

次回開催は9月を予定している